



参画だより

No. 32

2007.7.31

弘前市民参画センター

頼まれて
返事しないが
やる夫

作者コメント 三浦幸子さん（なのの会）

私がでかける前に「これお願いね」と頼んでも返事がない。でも、帰ってくるとやってくれている。「ありがとうね」という言葉も素直に言いにくい。「うん」とひとこと言ってくればいいのにな。



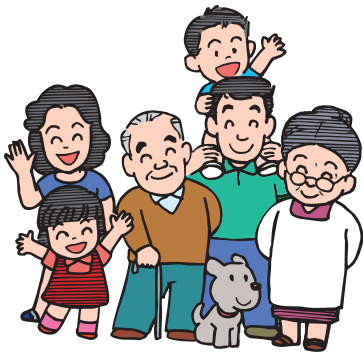
- 市民参画センター事業紹介「関係づくりを育む子育て支援」 P2
まなぼ「暮らしと女性学」レポート1 P4
おとこの気持ち聞いちゃいました「自由はステキですね!!」 P5
さんかくひとりごと「昼間のパパは…」 P5
男女・^{グループ}団体紹介「つみ木広場」 P6
利用団体紹介「あすなろ塾」 P7
本の紹介「バックラッシュ！」 P8
センターからのお知らせ P8



関係づくりを育む子育て支援

今、私たちに求められていること

平成19年度「さんかくネット」子育てサポーター フォローアップ研修及び子育て支援者公開講座 開催



平成19年5月29日と31日の2日間にあわせた、「さんかくネット」子育てサポーターフォローアップ研修及び子育て支援者公開講座が弘前市民参画センターで開催されました。

弘前市の子育てサポートシステム「さんかくネット」が、登録した子育てサポーターに対して実施している研修の対象を広げ、今年は公開講座としたところ、保育士や子育て支援員など、弘前市内外から子育てに携わる多くの人が参加し、のべ150人が受講しました。

90分ずつ全3回の講座では、「関係づくりを育む子育て支援」今、私たちに求められていること」というテーマのもと、親と子、親と支援者、そして親・支援者と子どもなど、さまざまな関係づくりについての講義が行われました。



「子どもの感情の発達と親子関係」
講師 鷺岳寛さん
(青森明の星大学専任講師)

思春期の子どもたちが起こす社会的な問題の背景には、乳幼児期、あるいは小学校の時期に問題がある場合が非常に多いのではないかと思います。

幼児期から過保護・過干渉を受けて育つと、子どもは自分で経験を積むことができず、人間関係の軋轢あつれきが生じたときにも感情で反応し、キレるという行為になってしまいます。親だけではなく先生や支援者も、そのことを頭に留めておいてほしいと思います。

親子関係の最終的な目的は、離



マイクスタンドを「絆」に見立てた実験。
「固い絆」では思春期の荒れを抑えられません。

れていても感じ取れるような絆をつくることです。ガッチリと固い絆では親も子も振り回されてしまいます。どこか深いところで何となくつながっている、というような絆を築けば子どもは安心し、親子関係も安定するのです。

最近「心の教育」とよくいわれますが、私は「手入れ」だろうと思っています。日常のお母さんの考え方や接し方が大きな意味を持ちます。お母さん自身の気持ちはどうすれば豊かになるか、という部分を中心にサポートしていくことが、いい親子関係につながるのではないかと考えています。



「親の育ち」を見守り 伴走する「支援者自身の育ち」

講師 小林 央美さん
こばやし ひろみ

(弘前大学教育学部准教授)

子育て支援者の基本姿勢は、傾聴することから始まります。最初は本音を出せなくても、傾聴を続けていく中で相手と人間関係ができて、初めて関わっていいける。支援者が答えを出してあげるのではなく、問題を抱えている本人が、自分自身でその問題を解決するプロセスを大事にしなければいけません。解決策をいっしょに考えるという姿勢がまさしく「伴走者」であると思います。



さまざまな立場での会話を実践。相手を否定しないこと、傾聴することの大切さを実感。

今なぜ子育て支援が必要なのかというところ、育児をつらく思っている親御さんがあるからです。自覚が足りないなどと否定するのではなく、その心の中を理解する努力から支援が始まります。若いお母さんたちを理解することで、自分の価値観も問い直されます。支援者にとっては日々学習の場です。支援者自身も学びながら、子育ての主体者である親が親として育っていくのを、ほんの少しお手伝いします。そんな子育ての伴走者になっただけだと思います。



「子どもの能力を 引き出し伸ばすコーチング」

講師 清水 紀人さん
しみず のりひと

(弘前大学教育学部教授)

子どもたちも子どもたちなりにがんばっています。でも、どんなにがんばってもできないこともある。そんな子どもにとっては、「がんばれ」という励ましの言葉が逆効果になる場合もあります。何ができないで、何がわからないのかというのを聞き出して、どこをどうすればできるようになるのかという具体的な説明をしてあげることが大切です。わからずにいる部分を指導者自身が感じ取る力を



コミュニケーション手段の一つ、ETびっこ。指を合わせて、相手が書いた文字を当てます。相手に見えるように書くのが思いやり。

持つことも大事なことです。子どもと同じ目線に立つ、ということの内面へ入っていくという意味です。子どもたちはどんな痛みを抱えているのか。どんな楽しさを求めているのか。全く同じには無理でも、本人と同じように感じる努力、限りなく近くなるようにする努力は絶対に必要です。相手の年齢に応じて、言葉でも絵でも音でもいい。そういったものを使ってコミュニケーションをとって、子どもと同じ価値観をつくっていくこともできるのではないのでしょうか。

まなぼ

～主婦の状況を考える～

「暮らしと女性学」レポート 第1回

「暮らしと女性学」と題して、2006年5月から4回連続講座をじえんだあ学習グループ～きづき～主催で開催しました。講師はさいたま市男女共同参画推進センター事業コーディネーターの下村美恵子さんです。その報告書の中からシリーズで紹介します。

◇なぜ「主婦の状況」を問題にするのか

「主婦の状況」とは元国立市公民館職員だった伊藤雅子さんが、女性たちとの関係から共通して見えてきた、主婦にありがちな行動様式を総称して言った言葉で、なぜ主婦なのかというと「主婦問題は女の問題の集約だ」からだと言っています。

「主婦の問題」をテーマにすると、主婦として生きている人たちが非難されたり、否定されたりという気持ちになりがちですが、決してそういうことではなく、主婦生活をせざるを得なかった社会構造（1955年頃からの産業化にともない、働き手の男性と子供の世話をする専業主婦が大量に誕生した）を問題にしています。

1985年、日本は女子差別撤廃条約に批准しましたが、全世界が認めるような男女平等社会とは言えず、国連の女子差別撤廃委員会から勧

告を受けたことの一つに「日本では女性たち自身が女性問題に気がついていない」ということがありました。

女性には考える力がないわけではないのにどこに問題があるのか、そこが課題です。女性といっても多様なのでひとくくりにはできませんが、必要なのは「考えて決断し、責任を持つ」ことではないでしょうか。

そのためにも現実の状況を整理する力、きちんと見通す力が必要になります。その人が置かれた状況から原因と背景と結果を見比べて、何が問題かを見通していかないと、問題を抱えた個人への非難になったり、その人の人格にしてしまいがちです。そして、その力は教養講座や独学で身につくものではありません。他者との共通点や相違点から課題整理する力をつけていく、つまり、現実から学ぶということになります。

「主婦の状況」とは？

たとえば学習の場などで

- ・連続講座などに申し込みしたのにもかかわらず、家庭の事情（夫や子供のこと）を理由に、連絡もせずに取りやめたり、遅刻したり、休んだりしてしまう。

- ・前回休んでも、どのような内容だったか確認もせず、前回休んだから分からないですませてしまう。などなど

◇専業主婦に限らず、仕事を持っている女性にも大なり小なり思い当たることがあるのではないのでしょうか？しかし、ここで「あの人はいつもそうなのよ」と個人を糾弾してしまっただけでは学習につながりません。なぜそうなのか、そうならざるを得ない状況を考え、現実から学ぶということが大事なのです。

印象に残ったこと！

- ・1回目は「主婦の状況を考える」というタイトルでしたが、女性学を学習するためには、この「主婦の状況」を理解しないと先へは進めないのだと実感した講座でした。

「主婦」を辞書では

「家族が気持ちよく元気に仕事（勉強）が出来るように生活環境を整え、食事などの世話を中心になつてする婦人。（主として妻に、この役が求められる）」

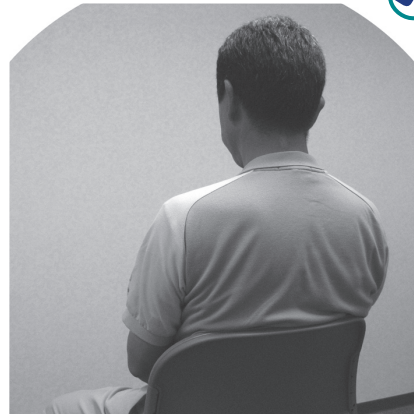
（※新明解国語辞典 第五版（三省堂）から）と表現しています。

皆さんはどう思いますか？

記事担当者 《じえんだあ学習グループ～きづき～》

弘前市で主催した「きらめき女性塾」を卒業した3人で2006年4月結成。男女共同参画について学んだつもりが、実は身についていなかったことに気づいてしまったのを機に、いつでも～きづき～を大事にしながら活動していきたいと思っています。（代表 千葉涼子）

おとこの気持ちも聞いてみました



50代 会社員 既婚（子どもあり）

Q. 家庭の中での男の役割、
女の役割は分けていると思いますか？

A. 古い考えかも知れないけれど、
男は働く、女は家庭のことをしたり、
育児をする。

Q. 男に生まれて良かったと思いますか？

A. 思う。男は自由。酒を飲んだり、
パチンコをするのも気兼ねなくできる。

Q. 社会人になってから、
泣きたいと思ったことはありましたか？

A. いっぱいあるけど、泣きはしなかった。
泣いても解決するんでもないし、
「負けたくない」と思った。

Q. 今の女性、これからの女性に望むことはありますか？

A. きちんとしてほしい。
例えば、椅子に座る時は
膝をくっつけるとか……。
平気で脚を開いて座っている女の人がいる。

インタビューを終えて

「自由」は、ステキですね!!

「古い考えかもしれないけれど…」という言葉から
男女共同参画社会を気にかけていると思いました。
「負けたくない」という男らしい男であり続けるこ
とは、大変なのかもしれませんね。
男性も女性もみんなが「自由」と言える社会にな
るといいですね。

KEI



ある所に
立ち寄った時のことです。
思いがけず男性が、
お茶を運んで来てくれました。
とても心地良かったです。

さんか
ひとりごと

心地良かったのはなぜかニャ？
「思いがけず」と思ったのは、
男と女の役割を
決め付けていたのかニャ？

なんで気になるのかニャ？
朝と夜のパパはなんだろうニャ？

ある日。

ラジオから流れていた曲の

one phrase ~ 「♪ 昼間のパパは男だぜ！」
ワン フレーズ

当たり前のことなのに、

なぜか気になる!

聞こえてきた独り言

人の心の中は、
「男と女」という枠があるの？
不思議だニャ〜!!



「たかが積み木、されど積み木」

「積み木広場」 太田 孝さん



◆積み木広場とは？

ヒノキの間伐材で作った5千個の積み木で遊びながら、子ども達の「想像力・表現力・辛抱強さ、友だちを理解する力」などを引き出し、友達と一緒に作品を作り上げることで遊びのルールを理解してもらおうのがねらいの活動です。また、大人同士では、上下関係のないコミュニケーション作りができ、作る喜びや感動を味わうことができます。



お母さんたちも、子どもの気分です！

◆活動のきっかけは？

保育サポーターとして、自宅で子どもの一時預かりをしています。我が家に来る子ども達とは、手作りおもちゃで遊んでいます。建築廃材から積み木も作りました。それを使って怪獣やお城を完成させ、迎えに来るパパやママを驚かせる子どもや、我が子の芸術をほめる親の様子から、このような機会を多く作りたいと思いました。そんなとき、間伐材から作られている積み木を知り、購入しました。

◆間伐材の積み木とは？

森を元気にするために切られた間伐材の使用は、環境に負荷を与えず循環型の素材生産をします。積み木購入資金の一部が山へ還元され、森が元気になるシステムができます。青い森ファンドの助成

を受けて、平成18年6月に3千個を購入することができました。賛同してくださる方々のカンパなどのおかげで、積み木の数を増やすことができ、今では5千個になっています。

◆体験者の感想は？

特に印象に残っているのが、高校受験が近い中学3年生の感想です。はじめは「積み木遊びか」と言っていた生徒から、開催後に送られてきた感想は、「積み木を崩すことで考えをリセットさせることや、いろんな角度からものを見ることなど、今後の生活に役立つ考え方を学べた気がする」「積み木を想像以上に楽しんでいます」「積み木を想像以上に楽しんでいます。人の感性の違いや考え方の違いを改めて思い知った」などのうれしい内容でした。

◆メンバーの募集は？

メンバーの募集はしていませんが、ボランティアで参加して下さる方は大歓迎です。



木のおい、いいねえ！

◆抱負と今後の予定は？

多くの方に「積み木広場」を体験してほしいです。障がいをもっている方も参加できるようにしたいです。また、県主催の「人権教育・学習モデル事業」の中で、生命の大切さを知らう！をテーマに、環境を守る大切さや、命の育みを感じ相手を認めることの大切さを体感してもらうワークショップを行う予定です。ほかに、積み木を製作した方と一緒に、1〜2万個の積み木を使い、大きな「積み木広場」の開催を計画しています。

※「積み木広場」は青森県総合社会教育センターの登録団体です。

【お問い合わせ先】

弘前市大字笹森町36-3 太田孝
TEL 0172-357478

手づくりの生涯学習

《あすなる塾》

国が生涯学習の振興を施策のひとつとして、平成2年6月にきめてから、市町村でも広く学習の機会がつくられるようになりました。

私どもの「あすなる塾」は、平成6年12月8日、市内南城西の「生きがいセンター」を利用して始まり、会場を「弘前市民参画センター」に移してから、平



向学心が大きなパワーに!!

センター利用者に突撃インタビュー

高校2年生・女子2名

- ◇センターはどうして知りましたか?
友だちの紹介で知りました。
- ◇センターをどう思いますか?
図書館だと話できないけれど、ここは話してもいいし、飲食もできるからいいです。
- ◇月に何回くらい利用していますか?
月10回くらいかな!
- ◇一週間続けに来るときもありますよ。
- ◇センターに何か言いたいことはない?
満足しているから、このままあーっと続けていって欲しい。
- ◇男女共同参画って知ってますか?
言葉は知っています。「男女平等」のための法律でしたか?
- ◇男女は平等だと思う?
家では、お父さんとお母さんは平等だと思うな。学校でも...
- ◇不平等を感じることはない?
学校の規則だ。服装とか髪とかのチェックが、女子に厳しい! あっ少し不平等だね〜!



センターで勉強していたところを直撃しちゃいました。とても、明るく元気な彼女たちとお話をして感じたことは、当センターをとても気に入っていること。また、現在の女子高生は「男女平等」な環境にあり、意識を持っているということ。
「社会に出て、そのままですーっと変わらずにね〜」

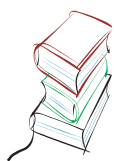
by Imo

成19年3月まで通算300回実施しました。開設時の48名から出席者が減少しましたが、長年継続できたことに大きなエネルギーを感じます。ここに学ぶ方々の「生涯にわたって学ぼう」という向学心が根底にあったような気がします。

全員が企画・運営に参加し、それぞれのテーマに従い、ある時には講師になり、ある時には司会進行係を務めて、会の活動を盛りたててきました。継続の理由は、講師になった会員の講義の多種多様な分野・内容に満たされていることだと思えます。例えば、身近な時事問題・教育・農業問題・税の話・歴史・趣味(植物栽培・登山・スポーツ・ちぎり絵)郷土料理のこと等、時間の過ぎるのも忘れるほどでした。

ときには講師の持つ、専門的知識の奥の深さに驚き、また、学ぶことはいかに新鮮なものであるかを噛みしめたことでした。年2回の野外学習も興味ある事でした。弘前城の歴史・園内石碑の探訪・弘前城植物園での植物鑑賞・懇親の場を持てたことや、自然の中で気軽に語り合えたこと。「手づくりの生涯学習」がさらに継続されて、生きがいとなり、多くの仲間と充実した施設に恵まれ、学べることに深く感謝申し上げます。

世話係 小向 博



本の紹介

タイトル

「バックラッシュ！」

発行 双風舎



どうして、バックシングの対象になるのか？

今回は弘前市民参画センターの蔵書の中から「バックラッシュ」という本を紹介したい。「バックラッシュ」とはある言説や営みに対する「逆流」現象のことで、最近では「男女平等」や「ジェンダーフリー」に対するバックシングやデマが話題になった。

平成12年12月の男女共同参画基本計画の策定から、平成17年12月に男女共同参画基本計画（第2次）が閣議決定されるまでの間、おもに「ジェンダーフリー教育」を標的にしたバックラッシュが一部のメディアで熱をおび、いまだに続いている。

ジェンダーフリーバックシングやバックラッシュの風が吹いてい

るくらいは知っていても、実際どんな内容なのか、「ジェンダーフリー」という言葉がどうしてバックシングの対象になったのかなどよくわからなかったが、この本を読むとそれがみえてくる。

豪華なメンバー総勢16名が書き下ろし、語り下ろしたものを編集した本で、手にした時は、その厚さと活字の多さ、カタカナ言葉の多さに圧倒されてしまう。一気に読もうとすると気が遠くなりそうで、市民参画センターを訪れる毎に手にしてみても、興味のありそうなところから読み始めてはどうかという結論に達した。私たちに、立ち止まって考える材料を提供してくれることに間違いない。

by komori

編集後記

本号から紙面が新しくなり、読者の皆様がどのようなことを知りたいのだろうと編集委員で検討した結果、今回の内容となりました。お読みになった感想はいかがでしたか？

これからも、記事を検討し、より多くの方に読んでいただけるよう努力したいと思います。何かご意見がありましたら、是非、お聞かせいただきたいと思います。

桂

センターからのお知らせ

ひとにやさしい社会推進セミナー開催予定

◇9月27日（木）未来へのみち

～みんなが幸せになるために 行政の役割と市民活動～

◇10月24日（水）思いを実現するひとたち

- ・前川建築との出会い、ひととの出会い
- ・伝えたい思いが伝えられるように

◇12月1日（土）いつだってチャレンジ適齢期！！

～自分らしく働き、自分らしく生きる～

開館時間の変更および臨時休館日のお知らせ

☆8月1日（水）～4日（土）開館時間 9:00～17:00

ねぶた運行に伴う交通規制等のため

☆8月20日（月）・21日（火）臨時休館

センター内設備点検等のため

弘前市民参画センター

〒036-8355

弘前市大字元寺町1-13

TEL 0172-31-2500

FAX 0172-36-1822

開館時間 9:00～22:00

休館日 12月28日～1月3日

<http://www.city.hirosaki.aomori.jp/gaiyo/>

shisetsu/kyouiku/htm_sankaku/framepage.htm

